

「元気な福井の健康づくり応援計画」改定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等	[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]						
[解決すべき問題・課題] 健康寿命の延伸を目標に、県民の健康増進の推進のため基本的な計画を定める。						[問題・課題を表す客観的データ] ・特定健康診査受診率(R5目標値:70%)…R元55.3%→R4速報値58.7% ・特定保健指導実施率(R5目標値:45%)…R元25.3%→R4速報値28.1%						
[事業目的] 健康増進法第8条に基づき、国の基本方針を勘案し、県民の健康増進推進に関する施策についての基本的な計画として定める。令和6年度開始の国の健康日本21(第三次)に合わせ、令和5年度に次期計画を策定。(第4次計画は令和4年度までの計画期間であったが、国において医療費適正化計画等と健康日本21(第二次)に続く次期プランの期間を一致させるため1年延長し、県も国の次期プランに合わせて策定)												
[事業内容] 「第5次元気な福井の健康づくり応援計画」の作成および配布 詳細版 220部 概要版 840部												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「元気な福井の健康づくり応援計画」改定事業(実績) 第4次計画において定めた73指標のうち、約7割にあたる46指標がA評価(目標を達成)またはB評価(目標には達成していないが、改善傾向にある)。					関連事業の有無・役割分担			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況	市町健康増進計画改定時の各種目標値については、県計画が定める目標値を参考とするため、情報共有する。					他県の状況			全都道府県が令和5年度に次期計画の策定作業を実施(国から医療費適正化計画等と健康日本21(第二次)に続く次期プランの期間を一致させることを目的に令和5年度中に計画策定の準備を進めるよう指示)			

「元気な福井の健康づくり応援計画」改定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営										事業 区分			R5 年度 経過年数
補助率	—										2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,018				1,018									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					1,469	1,018	令和6年度は計画書印刷経費のみ計上 (計画改定は令和5年度に完了)							
2月現計予算額の推移					1,200									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	— (目標) 実績								計画策定の過程で目標を設定するため、事業目標の設定は困難					
活動指標	計画策定WG開催回数 (目標) 実績				(4) 4									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定のワーキンググループを4回開催し活動指標を達成した。 (7/28、9/29、10/30、12/20) ・その他、計画策定にあたり必要な手続きを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ①健康づくり推進協議会の開催 (1/29) ②パブリックコメントの実施 (2/13～2/27) ③3月計画策定、公表 				<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体への計画配布、課HPへの掲載 ・各事業を予算措置し、計画内容を実行していく。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	451			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等	[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]						
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。健康寿命の延伸のため、大豆・大豆製品の活用に加え、低塩分で野菜を多く使用した栄養バランスの良い食事摂取と働き世代の生活習慣の改善が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び (H28 → R1) 男性 +0.75歳 (全国18位) 72.45歳 (H28) → 73.20歳 (R1) 女性 +0.48歳 (全国30位) 75.26歳 (H28) → 75.74歳 (R1)						
[事業目的] 県民に馴染みが深く栄養豊富な大豆等を取り入れ、低塩分で野菜を多く使用した栄養バランスのよい食事を「ふくい100彩ごはん」として、家庭食、外食・中食において普及啓発を図り、食環境整備を推進することで、県民全体の食生活を改善し健康寿命の更なる延伸を目指す。												
[事業内容] 1 県民の生活習慣を改善するための取組み ・試食体験・レシピカード配布を通じて「大豆料理100」の普及・推進(委託) ・事業所訪問を通じて、働き盛り世代に対する減塩や肥満予防などの健康に関する正しい知識の普及(委託) ・食生活改善推進員リーダーの活動を支援し、食を通じた次世代の健やかな生活習慣を形成(委託) 2 外食・中食に対する食環境づくりの取組み ・飲食店や惣菜店、社員食堂等におけるヘルシーメニュー等の「ふくい100彩ごはん」の認証と普及												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい型健康づくり推進プロジェクト (実績) ・健康づくり実践事業所の認定(67事業所) ・大豆・大豆製品を活用したレシピ収集(170種類)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		なし				

「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,990	685			2,305	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,620	10,326	7,145	5,601	2,990	事業の統廃合に伴う減					
2月現計予算額の推移		1,620	10,326	6,303	5,436							
決算額の推移		1,313	9,539	4,677								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) (177.8人) 実績 181.4人	(173.9人) 177.0人	(169.9人) 180.3人	(166.0人)	(162.0人)	(162.0人)	(162.0人)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人			
活動指標	認証メニュー数	(目標) 267 実績 267	(267) 266	(266) 211	(211) 252	(252)			前年度認証数の維持			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・成果指標(生活習慣病による死亡数)について、令和4年度は前年度に引き続きコロナ禍を原因とする食生活の質の低下や運動不足により、基礎疾患を有する県民の死亡数が増加したと推定され、目標未達成となった。 ・活動指標(認証メニュー数)については、新規店の開拓や、過去の認証店への再認証依頼を行うことにより、令和5年度は前年度認証メニュー数を上回り、目標達成した。				・認証メニュー数を維持するとともに、県民にバランスの良い食事や適切な塩分量の基準として、健康関連イベント、事業所訪問、ホームページ等を通じて啓発していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,611	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

わがまち健康推進員リーダー研修

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等	[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]						
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。地域での健康づくりを活性化するため、さらなるわがまち健康推進員の資質向上が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び (H28 → R1) 男性 +0.75歳 (全国18位) 72.45歳 (H28) → 73.20歳 (R1) 女性 +0.48歳 (全国30位) 75.26歳 (H28) → 75.74歳 (R1)						
[事業目的] 各地域で活動する「わがまち健康推進員」を支援し、地域に根差した健康づくり活動の中核を担う人材を育成することで、県全体の健康づくりを広げる。												
[事業内容] わがまち健康推進員リーダー研修会を実施し、地域に根差した健康づくり活動の中核を担う人材を育成する。												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

わがまち健康推進員リーダー研修

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	113					113						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		368	0	300	200	113	講師謝礼の見直しによる減					
2月現計予算額の推移		368	0	60	200							
決算額の推移		25	0	60								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) 177.8人 実績 181.4人	(173.9人) 177.0人	(169.9人) 180.3人	(166.0人)	(162.0人)	(162.0人)	(162.0人)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人			
活動指標	わがまち健康推進員数	(目標) 3,000 実績 3,117	(3,000) 2,820	(3,000) 2,686	(3,000) 2,508	(3,000)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・成果指標(生活習慣病による死亡数)について、令和4年度は前年度に引き続きコロナ禍を原因とする食生活の質の低下や運動不足により、基礎疾患を有する県民の死亡数が増加したと推定され、目標未達成となった。 ・活動指標について、令和5年度のわがまち健康推進員数は、2,508人であり、目標未達成となった。				引き続き、わがまち健康推進員の資質向上を行い、地域の健康づくりを後押しする。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	87	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくい健康づくり実践事業所認定

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等			[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]				
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。働き盛り世代を中心とした健康づくりが必要である。働き盛り世代は、仕事や育児等に忙しいため、職場での健康づくりが重要であり、健康経営の考え方を普及させていく必要がある。 また、働き盛り世代の睡眠時間や睡眠による休養感は減少しているため、生活習慣の改善や事業所への働きかけが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び (H28 → R1) 男性 +0.75歳 (全国18位) 72.45歳 (H28) →73.20歳 (R1) 女性 +0.48歳 (全国30位) 75.26歳 (H28) →75.74歳 (R1)						
[事業目的] 生産性の向上や企業イメージアップ、人材確保につながる「健康経営(企業が従業員の健康づくりを戦略的に行うこと)」の理念を県内企業に普及啓発し、それに取り組む事業所を「ふくい健康づくり実践事業所」として認定することで働き盛り世代の健康づくりを後押しし、健康寿命の延伸を目指す。 また、国が健康日本21(第三次)の目標に睡眠の項目を追加したことを踏まえ、県民へ睡眠の重要性を啓発するため、働き盛り世代をターゲットに睡眠キャンペーンを実施し、県民の睡眠時間の確保や質の向上を目指す。												
[事業内容] (1) ふくい健康づくり実践事業所の登録 目標: 250事業所(令和11年度) 従業員の健康づくりに取り組む事業所を「ふくい健康づくり実践事業所(現122事業所)」として認定する。 (2) 表彰・事例発表会等 ①優れた取組みを行うふくい健康づくり実践事業所を表彰する。 ②優れた健康経営を横展開するため、事例発表会やグループワークを行う。 (3) 健康づくり宣言事業所の登録促進 中小企業に健康経営の理念を広めるため、協会けんぽの健康づくり宣言事業や健保組合の健康企業宣言事業の促進を図る。 (4) 働き盛り世代の睡眠啓発キャンペーン 県の働き盛り世代においては、睡眠で休養が取れている者の割合は減少傾向にあり、特に男性は睡眠時間が十分に確保できている割合が減少しており、全国平均よりも低い。9月3日の「睡眠の日」に合わせたキャンペーンを実施し、睡眠時間の確保や睡眠の質を上げる生活習慣を啓発することで、県民の健康状態の改善を図る。 ①睡眠エピソード等の募集…働き盛り世代の睡眠エピソード等を募集し、優秀作品を選定。 ②県民参加型のイベント…3人1グループで、睡眠の質を上げる生活習慣(同じ時間に起きる、6時間寝る等)を継続してもらい、一定期間達成できたグループを対象に抽選会を行う。 ③普及啓発…望ましい睡眠時間や睡眠の質を上げる生活習慣等について、チラシやポスターを作成し、経済団体等を通して普及啓発を行う。												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくい健康づくり実践事業所認定

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,819				2,819							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		523	522	522	524	2,819	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた取り組みの横展開を図るための事例発表会等を開催 ・働き盛り世代への睡眠啓発キャンペーンの実施 					
2月現計予算額の推移		523	522	522	524							
決算額の推移		216	253	467								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生活習慣病による死亡数 (目標) (人口10万人あたり) 実績	(177.8人) 181.4人	(173.9人) 177.0人	(169.9人) 180.3人	(166.0人)	(162.0人)	(162.0人)	(162.0人)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人			
活動指標	ふくい健康づくり実践事業所認定数 (目標) 実績	(60) 67	(90) 95	(120) 122	(130) 130	(150)		(250)	令和5年度認定数から20増(5次計画中の認定の目標 250事業所)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標(生活習慣病による死亡数)について、令和4年度は前年度に引き続きコロナ禍を原因とする食生活の質の低下や運動不足により、基礎疾患を有する県民の死亡数が増加したと推定され、目標未達成となった。 ・活動指標については、令和5年度のは130事業所を認定し目標達成した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・認定要件や認定方法を見直し、より多様な健康づくりに取り組む事業所の増加を図る。 ・働き盛り世代を中心に、良い睡眠のための生活習慣を実践させる事業を実施し、健康状態の改善を図る。 				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

福井県版食環境づくり推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等	[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]						
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。福井県民の死因の約5割が生活習慣病であり、その主要な決定因子である食塩の過剰摂取に対する対策が必要である。本県の食塩摂取量は目標との乖離が大きく、健康寿命の延伸に向け、減塩を始めとする食環境づくりの推進が不可欠である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び (H28 → R1) 男性 +0.75歳 (全国18位) 72.45歳 (H28) → 73.20歳 (R1) 女性 +0.48歳 (全国30位) 75.26歳 (H28) → 75.74歳 (R1) ・本県の食塩摂取量 (R4) 男性: 11.9g 女性: 9.9g (目標 男性8.0g未満、女性7.0g未満)						
[事業目的] 産学官等の連携・協働による健康的で持続可能な食環境づくりを推進するための組織体を立ち上げ、「食塩の過剰摂取」に対する取組みを戦略的に進めることによって県民の健康寿命のさらなる延伸を目指す。												
[事業内容] 1 事業者の減塩の体制づくりに向けた取組み ①福井県版「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」運営委員会の開催 ②減塩の取組みに関する実態調査と分析 ③参画事業者募集に向けた説明会の開催・募集 ④モデル事業者における「こっそり減塩」実証 2 県民のヘルスリテラシー向上に向けた取組み ⑤市町職員対象の食環境づくりに関する研修会の開催 ⑥わかりやすい減塩チャレンジを普及啓発												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町職員対象の研修会を開催					他県の状況						

福井県版食環境づくり推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,208	3,218			1,990	健康的な生活習慣づくり重点化事業（糖尿病予防戦略事業） 国保ヘルスアップ支援事業（国民健康保険特別会計）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						5,208						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) (177.8人) 実績 181.4人	(173.9人) 177.0人	(169.9人) 180.3人	(166.0人)	(162.0人)	(162.0人)	(162.0人)	令和6年度の目標達成（平成29年度比12.8%）に向けた目標数 ※H29：185.8人 → R4：169.1人 → R6：162.0人			
活動指標	イニシアチブ参画事業者 数	(目標)				(10)	(40)	(80)	最終目標：県民の利用しやすさを考慮し、各中学校区で1以上の事業者 が参画（県内の中学校：80（福井県学校基本調査））			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

歩行から始める健康づくりプロジェクト事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等	[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]						
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。福井県民の死因の約5割が生活習慣病となる中、改善のためには歩行をはじめとする運動が効果的とされている。平均歩数はコロナ禍もあり減少したが、改めて手軽に誰でも取り組める歩行を通じて健康づくり施策を推進し、健康寿命を延伸させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び (H28 →R1) 男性：+0.49歳 (全国21位) 80.28歳 (H28) →79.79歳 (R1) 女性：+0.21歳 (全国37位) 84.22歳 (H28) →84.01歳 (R1) ・県民の平均歩数 (R4) 【20～64歳】男性：6,821歩 女性：5,398歩 (目標 男性8,700歩 女性7,800歩) 【65歳以上】男性：5,248歩 女性：5,174歩 (目標 男性6,500歩 女性5,500歩)						
[事業目的] 県民の健康づくりを推進するため、歩行その他の健康活動にインセンティブを付与する県下一斉キャンペーンを実施するとともに、講習会を通じて効果的な歩き方などを普及させることで、運動習慣の定着につなげる。												
[事業内容] 1. 「歩いて健康」推進キャンペーン (仮称：ふく歩(ほ)チャレンジ) 運動不足の解消や健康活動への関心を持たせるため、インセンティブを付与し、歩行などの健康活動を促進 参加者には、歩行目標達成だけでなく、健康指標(体重、腹囲、血圧)の維持・改善を実感してもらう 2. 効果的な歩き方の普及啓発 ふく歩チャレンジスタート直前の周知・募集を兼ねたプレイベントとして、ショッピングセンターウォーキング等と組み合わせて歩き方講習会を開催 短時間でも効果の高い歩き方を対面指導することで、歩行の効果増大を狙う												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町の健康づくり事業とタイアップし、県下全域で県民の歩数を底上げするよう、一体的な推進を図る。					他県の状況	全国28府県でインセンティブ付与による歩行推進事業を実施					

歩行から始める健康づくりプロジェクト事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	17,281				17,281							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						17,281						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) (177.8人) 実績 181.4人	(173.9人) 177.0人	(169.9人) 180.3人	(166.0人)	(162.0人)	(162.0人)	(162.0人)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人			
活動指標	キャンペーン参加者数	(目標)				(20,000)		(20,000)	第5次元気な福井の健康づくり応援計画に定める運動習慣定着率を達成 するため、歩行を主な運動とする県民の数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

健康づくりポータルサイト構築・運営事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	直営、委託													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等		[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
<p>本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。令和4年度の各目標項目が目標値に届かなかった。現在、県では健康づくりに関する情報を一元的に発信できる場がなく、各施策の認知度も低い。5次計画での新しい取組み(睡眠等)を含め、健康づくりに関する情報を一元的に効果的に発信していく必要がある。</p>						<p>・本県の健康寿命の伸び (H28 → R1) 男性 +0.75歳 (全国18位) 72.45歳 (H28) → 73.20歳 (R1) 女性 +0.48歳 (全国30位) 75.26歳 (H28) → 75.74歳 (R1)</p>								
[事業目的]														
<p>第4次元気な福井の健康づくり応援計画に掲げた目標は未達成のものもあり、第5次計画では健康寿命のさらなる延伸を目指し、目標達成のため、県民が取り組みやすい施策を展開する。その施策とともに、健康づくり全般にかかる情報を1つのポータルサイトに集約し、県民向けに広く広報することで、県民の健康づくりを後押しするとともに、健康づくりの機運醸成をはかる。</p>														
[事業内容]														
<p>県から発信する健康づくりの情報は不十分であり、各施策の認知度が低いため、運動や食生活、睡眠、歯の健康、女性の健康等、健康づくり全般の情報を一元的に発信できるポータルサイトを構築・運用し、県民が情報を得やすい環境を整備する。</p>														
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	なし					他県の状況	近県の状況 富山県 とやま健康ラボ https://kenko-toyama.jp/ 滋賀県 健康しが https://www.kenkou-shiga.jp/							

健康づくりポータルサイト構築・運営事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	4,846				4,846											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						4,846										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) (177.8人) 実績 181.4人	(173.9人) 177.0人	(169.9人) 180.3人	(166.0人)	(162.0人)	(162.0人)	(162.0人)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人							
活動指標	サイトアクセス数	(目標)				(5,000)			1月当たりのアクセス数							
実績																
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎				
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H20 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	補助								□ 法定受託事務	■ 補助金			□ その他	経過年数	17 年
補助率	1/3														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等		[第4次医療費適正化計画]								
[解決すべき問題・課題] 後期高齢者の健診受診率は、県が医療費適正化計画で掲げる目標値(70%)から乖離している。継続的に後期高齢者の健診受診を促進し、病気の発症、重症化を予防し、健康を保持して要介護状態とならないようにすることが重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年度の健診受診率実績値は42.4%であり、目標値受診率70%と乖離									
[事業目的] 後期高齢者の保険者である広域連合が実施する保健事業に対し支援することで、後期高齢者の健康を増進し、健康長寿につなげる。															
[事業内容] 後期高齢者医療被保険者を対象として、福井県後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査・歯科健康診査に係る費用の一部を補助する。 1 健康診査 ①補助対象者 1 県内後期高齢者医療被保険者のうち、日常的な医師の医学的管理を受けている者(施設入居者および長期入院者)を除く 2 (1のうち)75~79歳の前年度健診未受診者で、健康状態不明者および生活習慣病保有者でコントロール不良の者 ②補助内容 事業に係る経費のうち、健診受診者数×国が定める補助単価(12,630千円) 2 歯科健康診査 ①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者のうち、日常的な医師の医学的管理を受けている者(施設入居者および長期入院者)を除く75~79歳の者 ②補助内容 事業に係る経費のうち、歯科健診受診者数×国が定める補助単価(6,622千円)															
[受益者] 県内の後期高齢者医療被保険者(75~79歳)のうち健診対象者						[想定される受益者数] 45,000人									
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況		保健事業の実施主体は、保険者である広域連合であるが、広域連合の体制では事業の実施は困難なため、各市町が実施する事業に対して補助を行っている。県内のどの医療機関でも健診を受診できる体制整備を支援している。				他県の状況		○健診事業に対する補助実施都県…7都県 東京都、富山県、石川県、山梨県、奈良県、鳥取県、岡山県							

後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎		
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H20 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	1/3								<input type="checkbox"/> その他		17 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	19,252			繰入 19,252				高齢者保健福祉基金					
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		42,660	29,721	15,501	18,618	19,252	後期高齢者歯科健康診査の受診見込数の増						
2月現計予算額の推移		34,015	29,721	15,501	18,618								
決算額の推移		29,015	29,721	15,501									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	1人当たり医療費 (目標)								情勢により変動するため目標の設定が困難 (令和4年度実績は令和6年6月末に公表予定)				
	実績	885,760	918,020										
活動指標	健診受診率 (目標)	(70.0%)	(70.0%)	(70.0%)	(70.0%)				第3次医療費適正化計画期間中(平成30年度～令和5年度)に定める目標値70%の達成 健診受診率＝後期高齢者の健康診査受診者数÷健診受診対象者数×100				
	実績	31.3%	35.8%	42.4%									
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
活動指標について、令和4年度は前年度より受診率は伸びたものの、第3次医療費適正化計画に定める目標値(受診率70%)は達成しなかった。そのため、令和5年度から、前年度未受診者のうち、特に健康状態不明者や生活習慣病を有しながらコントロールできていない者に対する補助を実施しており、次年度の事業結果を評価する予定。				前年度健診未受診者のうち、特に健康状態不明者や生活習慣病を有しながらコントロールできていない者に対する補助(再掲)を継続することで、新規の健診受診者を増やし定期的な健診受診を促す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

人生100年時代の歯の健口応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営・委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [4 安心を高める(地域力)] 政 策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等		[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<p>令和4年度健康増進法に基づく市町の歯周疾患検診の受診率は7.81%にとどまっている。そこで、県民に対し歯科健診受診を促すことで、歯周病の早期発見の機会を提供するとともに、健康増進法に基づく歯周疾患検診に20歳、30歳の対象者を追加する動きに対応する。</p>						<p>県民の成人のうち歯と口腔の状態に所見を有する者の割合 71.7% (R4) 県民の成人のうち過去1年間に歯科健診を受診した者の割合 53.0% (R4)</p>									
[事業目的]															
県民に対し歯科健診受診の機会を提供することで、歯周病の早期発見や予防を促す。															
[事業内容]															
<p>(1) ふくい歯と口腔の健康づくり推進協議会 歯科保健施策全体について協議する場として 「福井県歯と口腔の健康づくり推進条例(令和3年4月1日施行)」に基づき設置</p> <p>(2) オーラルフレイル予防等に向けた市町研修会の開催 対 象 者：各市町歯科保健担当者、各健康福祉センター、歯科医師会(県・各支部代表) 内 容：歯科保健有識者による講演、グループワークによる研修会</p> <p>(3) 「フッ化物洗口」実施(県歯科医師会委託) 保育所、幼稚園等未就学児施設におけるフッ化物洗口の拡大</p> <p>(4) マイナス1歳からのむし歯予防事業(県歯科医師会委託) 対 象 者：母子手帳交付後から出産後1年以内の妊産婦 内 容：母子手帳に歯科健診の案内を追加し、歯科医療機関で歯科健診を実施</p> <p>(5) 歯科健診受診勧奨 対 象 者：県内の20代から50代の働き盛り世代 内 容：インターネット広告およびSNS広告を用いた広報を実施</p>															
[受益者] 県内成人、妊産婦、4歳～5歳の子ども						[想定される受益者数] 約29万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットにて市町の無料歯科健診を紹介 ・歯科健診の重要性を伝えるポスターを市町へ配布 					他県の状況	[過去1年間に歯科健診を受診した成人の割合] R4 全 国：58.0% R4 福井県：53.0%								

人生100年時代の歯の健口応援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営・委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,351	3,307			8,044	医療施設運営費等補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		14,207	8,710	11,022	11,351	マイナス1歳からのむし歯予防事業の対象者数の増						
2月現計予算額の推移		12,122	8,710	11,022								
決算額の推移		8,533	6,153									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	5歳児のむし歯有病率	(目標) 実績	- 34.1	(34.1) 28.8	(28.8) 28.5	(28.5)	-	-	-	前年度より有病率を改善する。 (令和5年度実績は令和6年11月に公表予定)		
活動指標	フッ化物洗口実施率	(目標) 実績	- 43.6	(43.6) 34.1	(34.1) 30.8	(30.8)	-	-	-			前年度より実施率を改善する。 (令和5年11月時点)
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
○成果指標(5歳児のむし歯有病率) 令和4年度は、マイナス1歳からの歯科健診等の子どもの歯の健康状態を改善するための取組みを継続し、目標達成した。 ○活動指標(フッ化物洗口実施率) 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて実施率が回復し、目標達成する見込み。				県民の歯科保健意識向上につなげるため、SNS等を活用し、歯科受診勧奨を実施する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

人工腎臓装置不足地域設備整備事業補助金

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課		課長名	松森義郎		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	H23 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	補助			□ 法定受託事務					■ 補助金	□ その他			経過年数	13 年
補助率	1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)]		政策 [14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉]		関連する県の計画等		[第7次福井県医療計画]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
福井・坂井、丹南、嶺南が人工腎臓装置不足地域となっている。						二次医療圏域の透析患者数を当該圏域の人工腎臓整備台数で除した数が2.0以上が不足地域(医療提供体制推進事業費補助金交付要綱より) ⇒福井・坂井、丹南、嶺南が不足地域(福井2.01 奥越1.50 丹南2.37 嶺南2.73)								
[事業目的]														
人工腎臓装置不足地域に人工腎臓装置を整備し、透析患者に対する治療の充実を図り、透析医療の地域格差の解消を図る。														
[事業内容]														
○補助対象 透析医療を行う医療機関														
○整備内容 新規、増設、新規または増設と同時に行う更新														
○補助率 1/3 (国庫10/10)														
○整備計画 はるそら内科クリニック 透析用監視装置：4台														
○補助額 1,383千円														
[受益者] 透析患者						[想定される受益者数] 約1,700人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況	全国において実施							

人工腎臓装置不足地域設備整備事業補助金

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		H23 年度			経過年数
補助率	1/3								<input type="checkbox"/> その他		14 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額						医療提供体制推進事業費補助金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				7,076	2,383									
2月現計予算額の推移				2,383	1,310									
決算額の推移				2,383	1,310									
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	不足地域の解消 (二次医療圏)	(目標) (1)	(1)	(1)	(1)			(1)	丹南医療圏、嶺南医療圏が不足地域であり1医療圏でも不足を解消する					
		実績 0	0	0	1									
活動指標	人工腎臓装置設置台数	(目標) (0)	(0)	(26)	(4)				令和5年度はるそら内科クリニック整備数					
		実績 0	0	4	5									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
・成果指標については、令和5年度事業により福井・坂井地域の不足が解消され、目標達成した。 ・活動指標(人工腎臓装置設置台数)については、5台新規設置し目標達成した。				・人工腎臓装置増設置台数が特に不足する医療機関へ呼びかけを行う。 ※透析施設の新規開業等に伴う令和5年度補助事業により、不足地域の基準は解消に近づいた(県全体2.14→2.11)ものの、不足地域基準は医療機関の装置整備状況と透析患者数に影響されるため、毎年度、段階的な整備計画を立てていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	■ 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,383			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

食生活改善推進員による事業所サポート事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課		課長名	松森義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [4 安心を高める(地域力)] 政 策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等		[第4次元気な福井の健康づくり応援計画]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<p>本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。健康寿命の延伸のため、若い頃からの健康づくりの推進と働き盛り世代の生活習慣の改善が必要である。</p>						<p>・本県の健康寿命の伸び (H28 → R1) 男性 +0.75歳 (全国18位) 72.45歳 (H28) → 73.20歳 (R1) 女性 +0.48歳 (全国30位) 75.26歳 (H28) → 75.74歳 (R1)</p>									
[事業目的]															
食生活改善推進員が事業所に訪問し、従業員に対し減塩や肥満・やせの予防・改善など健康に関する正しい知識の普及と生活習慣の改善に向けた支援を行う。															
[事業内容]															
<p>○事業所等への訪問活動 50事業所/年 事業所に対し訪問の希望を募り、希望のあった事業所への訪問活動を行う。</p> <p>○研修会の開催 1回/年 食生活改善推進員を対象に、働き世代の食生活や健康づくりに関する知識と技術を習得するための研修会を実施する。</p> <p>○企画調整会議の開催 2回/年 本事業を効果的に実施するため、企画調整会議を開催する。</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

食生活改善推進員による事業所サポート事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R1 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託											経過年数		
補助率	—											5 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額								感染症予防事業費等国庫負担（補助）金						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			532	525	472	472		「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業へ統合						
2月現計予算額の推移			532	525	472	472								
決算額の推移			465	496	467									
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)		(177.8人) 実績 181.4人	(173.9人) 177.0人	(169.9人) 180.3人	(166.0人)		(166.0人)	(166.0人)	令和6年度の目標達成（平成29年度比12.8%）に向けた目標数 ※H29：185.8人 → R4：169.1人 → R6：162.0人				
活動指標	食生活改善推進員による 事業所訪問活動数		(50) 実績 50	(50) 50	(50) 52	(50) 50				事業所に対し食生活改善の訪問指導の希望を募り、希望のあった事業所を訪問				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
・成果指標(生活習慣病による死亡数)について、令和4年度は前年度に引き続きコロナ禍を原因とする食生活の質の低下や運動不足により、基礎疾患を有する県民の死亡数が増加したと推定され、目標未達成となった。 ・活動指標(事業所訪問活動数)について、令和5年度は50回以上の訪問活動を行い目標達成した。				・令和6年度は「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業に統合し、前年度と同水準の事業規模することで、引き続き事業所の従業員の健康改善を図っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	472			
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

医療費適正化計画改定事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎						
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H19 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度						
事業実施方法	直営																
補助率	—																
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の健康ライフスタイル]				関連する県の計画等		[]										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]											
国民皆保険の下、誰もが安心して医療を受けることができる医療制度や提供体制を確保していくため、医療費適正化を推進する						本県医療費：約2,649億円(2017年度見込)→約2,946億円(2023年度見込)※ ※2017年度時点における医療費適正化計画に基づく施策を実施しなかった場合の見通し(国の示した推計方法により算出)											
[事業目的]																	
高齢者の医療の確保に関する法律第9条に基づき、6年ごとに定めることが義務付けられている県医療費適正化計画の改定を行う。																	
[事業内容]																	
(1) 医療費分析 ・医療に関するデータ(医療統計やレセプトデータ)の収集・分析を行い、本県医療の現状と課題を把握する。 (2) 関係者の意見聴取 ・学識経験者および保険者、被保険者、医療機関その他の関係機関の代表者で構成する医療費適正化計画懇話会(3回)を開催し、外部の専門家や関係団体の意見を聴取する。 (3) 他計画との調整 ・医療計画、地域医療構想、介護保険事業支援計画および健康増進計画との調和を図る必要があることから、関係各課と連携を図り、庁内調整を行う。 (4) 計画の策定と公表 ・現行の医療費適正化計画の中間評価を踏まえ、国から示される医療費適正化基本方針に即して、令和5年度末までに医療費適正化計画を策定し公表する。																	
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約76万人											
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 医療費適正化計画改定事業 (実績) 第3次計画は事業実施中のため実績が出ていないが、第2次計画については当初の119億円の医療費削減という目標を上回る230億円の医療費削減を達成。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)										
市町との連携状況						他県の状況	全都道府県が令和5年度に策定作業を実施										

医療費適正化計画改定事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					573		計画改定作業の完了							
2月現計予算額の推移					573									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	後発医薬品使用割合	(目標)			(80%)				後発医薬品使用割合 処方された医薬品における後発医薬品の占める割合(数量ベース) (令和5年度実績は令和6年9月に公表予定)					
		実績	84.1%	83.1%	84.9%									
活動指標	医療費総額	(目標)			(2,915億円)				目標値は医療費適正化の施策により削減された後の医療費総額 実績額は毎年公表される国民医療費 ※4年度は概算医療費(実績の約98%に相当)からの推計 (5年度は令和6年10月頃に公表予定)					
		実績	2,600億円	2,719億円	2,808億円									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価						
・成果指標(後発医薬品使用割合)は、平成30年度以降、実績が80%を上回っており、目標達成している。 ・活動指標(医療費総額)は、令和2年度以降、実績が2,915億円を下回っており、目標達成している。					引き続き医療費の削減に取り組んでいく。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	573			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				